

2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	東武鉄道株式会社
---------	----------

本年度整備費	10,822 百万円
--------	------------

整備完了実績（設置又は改良であって、本年度供用を開始したもの）		
設備名	整備数	駅名
ホーム柵（可動式）	4 駅 10 番線	西新井（緩行線）、東武練馬、下赤塚、成増
ホーム柵（固定式）	6 駅 12 番線	北大宮、南桜井、川間、清水公園、豊四季、新船橋
エレベーター	2 駅 4 基	とうきょうスカイツリー、朝霞台（南口）
エスカレーター	1 駅 4 基	とうきょうスカイツリー
スロープ	1 駅 1 ヶ所	茂林寺前（西口）
内方線付点状ブロック	12 駅 23 番線	堀切、姫宮、鷺宮、南羽生、佐野、北大宮、豊四季、一本松、武州長瀬 他
段差隙間縮小に資する設備	3 駅 8 番線	柏（1,2,3,4番線）、船橋（1,2番線）、和光市（2,3番線）
バリアフリースイッチ	- 駅 - ヶ所	
運行情報提供設備（発車案内表示器）	5 駅 5 ヶ所	小村井、東あずま、亀戸水神、おもちゃのまち、佐野
その他	備考欄参照 ※1	
備考	※1 誘導ブロック：17駅（草加、新伊勢崎、南桜井 他）、音響案内装置：8駅（蒲生、大師前、霞ヶ関 他）等	

※整備内容の詳細については様式2-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

料金徴収によるホーム柵（可動式）設置番線数・段差解消駅数		
ホーム柵（可動式）設置番線数	10	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	1 駅
	二経路以上確保駅	- 駅

本年度徴収額	6,422 百万円		
(内訳)			
	定期外（普通券など）	通勤定期券	通学定期券
徴収額（百万円）	3,013	3,409	-
備考			

本年度までの累計整備費	28,687 百万円
本年度までの累計徴収額	18,681 百万円

2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績				
(1) 設置・改良費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵 (可動式)	14 駅	51 番線	西新井 (急行線) (継)、流山おたかの森(新)、ときわ台(新)、上板橋(新)、上福岡(継) 他	5,340 百万円
ホーム柵 (固定式)	11 駅	22 番線	北大宮(新)、南桜井(継)、川間(新)、清水公園(新)、豊四季(新) 他	1,909 百万円
エレベーター	2 駅	4 基	とうきょうスカイツリー(継)、朝霞台(継)	166 百万円
エスカレーター※2	1 駅	4 基	とうきょうスカイツリー(継)	192 百万円
スロープ	2 駅	2 ヶ所	亀戸水神(新)、茂林寺前(新)	152 百万円
内方線付点状ブロック	12 駅	23 番線	堀切(新)、姫宮(新)、南羽生(新)、佐野(新)、豊四季(新)、一本松(新)、武州長瀬(新) 他	239 百万円
段差隙間縮小に資する設備	3 駅	8 番線	柏 (1,2,3,4番線) (新)、船橋 (1,2番線) (新)、和光市 (2,3番線) (継)	44 百万円
運行情報提供設備 (発車案内表示器)	5 駅	5 ヶ所	小村井(新)、亀戸水神(新)、おもちゃのまち(新)、佐野(新) 他	74 百万円
その他	備考欄参照 ※3			288 百万円
備考	※2 音響案内装置新設含む ※3 誘導ブロック:17駅 音響案内装置 8 駅 等			
(2) 更新費				
設備名	整備数		整備駅名	整備費
ホーム柵 (可動式)	2 駅	4 番線	船橋、和光市	104 百万円
エレベーター	74 駅	158 基	曳舟、西新井、久喜、下今市、岩槻、上板橋、志木、小川町 他	223 百万円
エスカレーター	47 駅	122 基	梅島、せんげん台、羽生、流山おたかの森、上福岡、坂戸 他	480 百万円
車両	- 編成	- 両	-	- 百万円
その他	備考欄参照 ※4			922 百万円
備考	※4 運行情報表示器(発車案内表示器): 4 駅 トイレの様式化・リニューアル: 9カ所 二段手摺化・段鼻の改修:5駅 等			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)				
維持管理費 ※5		659 百万円		
収受システム改修費		- 百万円		
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		30 百万円		
備考	※5 ホーム柵 (可動式) ・エレベーター・エスカレーターのメンテナンス 等			

※整備駅名の記載に当たっては、括弧書で新規着手・継続の別をあわせて記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2021年度～2025年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2021年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%
2022年度	0番線	0%	0駅	0%	1駅	100%
2023年度	8番線	28%	1駅	50%	1駅	100%
2024年度	10番線	64%	0駅	50%	1駅	100%
2025年度	10番線	100%	1駅	100%	1駅	100%
累計	28番線	100%	2駅	100%	2駅	100%

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

バリアフリー整備・徴収計画の進捗状況（2026年度～2035年度）

年度	ホームドア設置番線数		段差解消駅数 (移動等円滑化された経路が設けられている駅数)			
	設置数	計画進捗率	一経路確保駅		二経路以上確保駅	
			駅数	計画進捗率	駅数	計画進捗率
2026年度	14番線	14%	2駅	100%		
2027年度	82番線	100%	1駅	-	1駅	-
2028年度						
2029年度						
2030年度						
2031年度						
2032年度						
2033年度						
2034年度						
2035年度						
累計						

※バリアフリー法に基づく基本方針の目標期間ごとに作成

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

ホームドア整備詳細（随意契約を実施した場合のみ記載）

ホームドア整備事業名	随意契約とした理由	適正価格での発注のための措置	契約額
-	-	-	- 百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円
			百万円

※事業内容の記載に当たっては、駅名、番線数をそれぞれ明記すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

鉄軌道事業者名	東武鉄道株式会社
期間中の総整備費	28,687 百万円
期間中の総徴収額	18,681 百万円
備考	

整備完了実績（設置又は改良であって、期間中に供用を開始したもの）					
設備名	計画数		整備数		進捗率
ホーム柵（可動式）	12 駅	28 番線	12 駅	28 番線	100 %
ホーム柵（固定式）	15 駅	30 番線	15 駅	30 番線	100 %
エレベーター	3 駅	9 基	3 駅	9 基	100 %
エスカレーター	5 駅	19 基	5 駅	16 基	84 %
スロープ	1 駅	2 ヶ所	1 駅	1 ヶ所	50 %
内方線付点状ブロック	40 駅	94 番線	39 駅	92 番線	98 %
段差隙間縮小に資する設備	25 駅	72 番線	25 駅	72 番線	100 %
バリアフリースイール	3 駅	3 ヶ所	3 駅	3 ヶ所	100 %
運行情報提供設備 （発車案内表示器）	20 駅	20 ヶ所	20 駅	20 ヶ所	100 %
その他	備考欄参照 ※1				
備考	※1 誘導ブロック：136駅、音響案内装置：17駅、触知案内板：43駅 等				

※整備内容の詳細については様式3-2に記載すること。

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

※計画進捗率は、計画期間における整備数の累計/計画期間における整備計画数により算出すること。

料金徴収による期間中のホームドア設置番線数・段差解消駅数		
ホームドア設置番線数	28	番線
段差解消駅数	一経路確保駅	2 駅
	二経路以上確保駅	- 駅

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備実績			
(1) 設置・改良費			
設備名	整備数		整備費
ホーム柵 (可動式)	22 駅	59 番線	12,917 百万円
ホーム柵 (固定式)	15 駅	30 番線	3,895 百万円
エレベーター	3 駅	9 基	825 百万円
エスカレーター	5 駅	19 基	252 百万円
スロープ	2 駅	3 ヶ所	152 百万円
内方線付点状ブロック	39 駅	92 番線	917 百万円
段差隙間縮小	25 駅	72 番線	148 百万円
バリアフリースイレ	3 駅	3 ヶ所	25 百万円
運行情報提供設備 (発車案内表示器)	20 駅	20 ヶ所	468 百万円
その他	備考欄参照 ※2		561 百万円
備考	期間中における整備完了駅に加えて、2026年度以降も継続して工事を実施する駅も整備数、整備費に計上 ※2 誘導ブロック：136駅、音響案内装置：17駅、触知案内板：43駅 等		
(2) 更新費			
設備名	整備数		整備費
ホーム柵 (可動式)	3 駅	8 番線	128 百万円
エレベーター	608 基		774 百万円
エスカレーター	444 基		1,466 百万円
その他	備考欄参照 ※3		3,160 百万円
備考	期間中における整備完了駅に加えて、2026年度以降も継続して工事を実施する駅も整備数、整備費に計上 ※3 運行情報提供設備 (発車案内表示器) 22駅、トイレの様式化・リニューアル39ヶ所、二段手摺化・段鼻の改修31駅、非常通報装置199駅		
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)			
維持管理費		2,619 百万円	
収受システム改修費		90 百万円	
その他費用 (駅務機器改修費・駅頭表示改修費など)		290 百万円	
備考			

※設備欄において「その他」を選択した場合には、備考欄に当該設備名を記載すること。

2021年度～2025年度 バリアフリー整備等実績

整備等計画と実績が異なる場合の対応方針

・様式3-1において、「設置・改良費」の「エスカレーター」については、とうきょうスカイツリー駅付近にて実施しています「東武鉄道伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業」の事業期間の延伸に伴い、同駅でのエスカレーターの一部の整備時期を延期したこと等から、2021～2025年度の整備計画数に対して実績が下回っております。連続立体交差事業の完了（2028年度予定）に合わせて、引き続き整備を進めてまいります。

・様式3-1において、「設置・改良費」の「スロープ」については、茂林寺前駅の東口スロープ整備の工程を見直したことから、2021年度～2025年度の計画数に対して実績が下回っております。当該工事については、2026年度4月に完了しております。

・様式3-1において、「設置・改良費」の「内方線付点状ブロック」については、南桜井駅の工程を見直したことから、2021年度～2025年度の整備計画数に対して実績が下回っております。当該工事については、2026年度5月に完了しております。